

教 育 警 察 委 員 会 の 概 要 (教 育)

開 催 年 月 日	令和5年7月3日	開 会 、 閉 会 時 間	13時48分から 14時25分まで
委 員 の 出 欠	出席：藤本委員長、小川副委員長 佐藤委員、加藤委員、布俣委員、森（治）委員、木村委員、判治委員 欠席：なし		
(付託案件の可否)			
(条例その他) 議第67号 スクールバスの取得について (可決)			
(請 願) 請願第4号 県内各自治体の小中学校の給食費無償化が進むよう支援を求めます (不採択)			
(質疑の内容)			
発 言 者	発 言 内 容		
【条例その他】スクールバスの取得について			
(質疑なし)			
【請願】県内各自治体の小中学校の給食費無償化が進むよう支援を求めます			
※布俣委員より不採択とすべき発言があり、採決の結果、不採択とすべきものとされた。			
【報告】令和4年度岐阜県一般会計繰越明許費繰越計算書			
森（治）委員	スクールバスの安全装置の設置費について、安全装置の不足や業者が限られているため、設置が思うように進んでいないと聞いている。県における安全装置の設置状況はどうなっているのか。		
学校安全課長	県教育委員会では、公立幼稚園及び県の特別支援学校を対象としている。公立幼稚園は、13施設21台の送迎用バスを保有しており、令和5年6月30日時点で、全てのバスに安全装置の設置が完了している。		
特別支援教育課長	県立特別支援学校はバスを63台保有しており、21台の設置が完了している。8月中旬に、全車設置完了を予定している。		
【報告】令和4年度「清流の国ぎふ」創生総合戦略実施状況報告書			
加 藤 委 員	私立高校進学者数は横ばいなのに対し、公立高校進学者数は減少傾向と聞いているが、理由は何か。私立高校と公立高校の間で定員の調整を行っているためか。それとも、公立高校への進学希望者が減少しているのか。		
教育総務課 教 育 主 管	公立高校に入学する生徒は減少傾向にある。9月に開催される公私立協議会にて協議はするものの、公立私立それぞれで入学定員の設定を行っており、私立学校との入学定員の調整は行っていない。		
加 藤 委 員	公立高校の入学定員が減少傾向にあるのは、公立高校への進学希望者が減少しているためか。		

教育総務課 教育主管	通信制高校への進学者の増加など、価値観の多様化が要因と考える。
加藤委員	公立高校志望者が減少傾向のなか、県立高校の魅力の向上や、志願者数の増加に対する考えは。
教育総務課 教育主管	今年度、第4次教育ビジョンの策定を進めており、少子化が進む中での県立高校の魅力向上や志願者数の増加などについて、どのように盛り込んでいくかは様々な視点から検討中である。
加藤委員	これまで公立高校が果たしてきた役割は大きく、存在意義は大きいと考える。県立高校の統廃合を常に心配しているという地域の声もあることから、県立高校の存在意義を高める方向でいろんな議論をしてほしい。
【その他報告】 事務事業の点検評価に関する報告について	
	(質疑なし)
【その他】	
布俣委員	公立小中学校の給食や県立高校の昼食時間は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行した5月8日以降、どのような変化があったか。
教育総務課長	県では、5類移行後、国が策定した衛生管理マニュアルに沿って運用しているが、特段昼食時に制限は設けていないため、通常の会話が可能な状況である。
布俣委員	コロナ禍の影響により、黙食が常態化した但、今でも1人で食べている状況があれば、早急に改善する必要がある。給食や昼食は、学校の楽しい時間でもあるので、問題がある場合は、早急に対応してほしい。
小川副委員長	事務事業の点検評価に関する報告書と令和4年度「清流の国ぎふ」創生総合戦略実施状況報告書に記載のKPI「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う児童生徒の割合」について、双方の実績値が異なる理由は。
教育総務課長	確認し、後ほどお答えする。※議会運営委員会で資料の訂正を説明し、後日、全議員に対し訂正及びお詫びの文書を配布予定。